



Light Bee X

Electric Motorcycle
Owner's Manual

輸入販売元：株式会社コハクジャパン

住所：東京都葛飾区水本3-22-23

製造元：重慶秋龍科技有限公司

住所：中国重慶市大渡口区楊子溪街道四面村259号

郵便番号：125-0032 電話：03-5876-5058

バージョン：Y029A-EN-V1.1

発行日：2025.9.10

乗車前に本マニュアルをよくお読みいただき、電動バイクの特性をよく理解してご使用ください。
本マニュアルは大切に保管してください。本マニュアルには印刷時点での最新製品情報が記載されていますが、お客様のオートバイの外観や設定は本取扱説明書の情報と異なる場合があります。最新の機能紹介や安全ガイドラインについては、当社ウェブサイト <https://surron.jp/>、お問い合わせフォームよりお問い合わせのほどお願いいたします。

本マニュアルは下記のモデル専用の取扱説明書です。



Light Bee 2025年モデル
オフロードタイヤ（前輪 70/100-19 後輪 3.00-18）

航続距離を伸ばすライディングのコツ

電動バイク、ライトビーの航続距離は、ガソリンバイクと同様に変動します。電動バイク、ライトビーの航続距離の変動は、満充電後の走行条件に起因します。運転習慣に加え、エネルギー消費量は環境条件（極寒・酷暑、急勾配の坂道や柔らかい砂地での走行など）にも影響を受けます。満充電1回あたりの最大航続距離を伸ばすには、急加速を抑え、一定速度を維持するようにしてください。

理想的な範囲に到達するには、以下のポイントに従ってください：

1. 急激な加速や急ブレーキは避けてください。
2. 安全な状況下では、回生ブレーキを使用して走行距離を延長できます。
3. タイヤの空気圧を適正に保ってください（10.11ページの標準タイヤ空気圧表を参照）。
4. 不要な荷物を降ろしてください。
5. 冬と夏では最大航続距離が若干異なる場合があります。

上記の要因とライダーの運転習慣に基づいて走行可能距離を推定できます。
注：オフロード走行時は様々な路面状況により、走行可能距離は大きく変動します。

| | |
|-----------------------|-----|
| はじめに | 1.1 |
| 重要なお知らせ | 1.1 |
| 輸送 | 1.2 |
| 安全に関する情報 | 2.1 |
| 安全な走行に関する要件 | 2.1 |
| 重要情報 | 2.2 |
| 重要ラベルの位置 | 2.5 |
| 機能部品の概要 | 3.1 |
| ディスプレイおよびインジケータ | 4.1 |
| ダッシュボードの概要 | 4.1 |
| 機能設定 | 5.1 |
| ダッシュボード設定 | 5.1 |
| システム機能設定 | 5.2 |

Contents

| | |
|-----------------------|-----|
| 機能紹介..... | 6.1 |
| ハンドルバーコントロール..... | 6.1 |
| 走行モードスイッチ..... | 6.2 |
| バッテリーパックの取り外し..... | 6.2 |
| バッテリーパックの取り付け..... | 6.4 |
| バッテリー底部バッファの取り付け..... | 6.5 |
| 充電器..... | 6.5 |
| 始動と操作..... | 7.1 |
| 走行前点検..... | 7.1 |
| キースイッチ..... | 7.4 |
| バッテリーコンパートメントロック..... | 7.5 |
| 乗車..... | 7.5 |
| フロントフォークの調整..... | 7.7 |
| リアショックの調整..... | 7.9 |

| | |
|------------------|-------|
| 電源管理..... | 8.1 |
| バッテリーパック..... | 8.1 |
| 電源と充電..... | 8.2 |
| 電力システム管理..... | 9.1 |
| 電力システム..... | 9.1 |
| メンテナンス..... | 10.1 |
| 保守項目..... | 10.1 |
| 保守記録..... | 10.1 |
| 定期メンテナンス..... | 10.1 |
| 定期メンテナンス表..... | 10.2 |
| トルク管理..... | 10.3 |
| バッテリーパック..... | 10.6 |
| ブレーキシステム..... | 10.7 |
| サスペンションシステム..... | 10.10 |

Contents

Contents

| | |
|------------------------------|--------|
| ホイールとタイヤ | 10.1 1 |
| チェーン | 10.1 2 |
| ライト交換 | 10.1 4 |
| オートバイの清掃 | 10.1 4 |
| 長期保管 | 10.1 6 |
| ライトビー純正部品 | 10.1 7 |
| ヒューズ | 10.1 7 |
| ライトビー電気回路図 | 10.1 9 |
| トラブルシューティング | 11.1 |
| ライトビー電動バイクのトラブルシューティング | 11.1 |
| 診断ケーブルの使用方法 | 11.1 |
| 温度に関する注意事項 | 11.2 |
| 安全インターロック | 11.4 |
| ライトビー電動バイクの注意事項 | 11.4 |
| 故障リスト | 11.7 |
| 一般的なトラブルシューティング | 11.9 |

| | |
|----------------------------|------|
| 保証情報 | 12.1 |
| 保証の発効 | 12.1 |
| 有効な保証条件 | 12.1 |
| 保証期間 | 12.1 |
| 保証の継承について | 12.1 |
| 保証対象部品 | 12.2 |
| 保証適用外 | 12.2 |
| 保証修理の適用 | 12.2 |
| 保証修理の対応期間および部品供給について | 12.2 |
| 保証の可否 | 12.3 |
| 使用者の遵守事項 | 12.3 |
| メンテナンス記録 | 13.1 |
| アフターサービス記録 | 13.7 |
| パラメータリスト | 13.9 |

Contents

はじめに

重要なお知らせ

サーロン ライトビーのご購入を心より感謝申し上げます。

サーロニストコミュニティへようこそ。

乗車前に本マニュアルをよくお読みいただき、電動バイクの特性をよく理解してご使用ください。本マニュアルは、ライトビーの操作・点検・基本メンテナンスについて理解を深めていただくために作成されています。

本マニュアルは当社公式ウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://sur-ron.jp/manual/>よりダウンロードいただけます。更新情報は随時オンラインで公開されますので、最新版は公式ウェブサイトからダウンロードしてください。

オートバイを売却される場合は、必ず本取扱説明書を同梱してください。オートバイの操作やメンテナンスに関するご質問は、正規販売店またはSurrón輸入販売元の株式会社コハクジャパンまでお問い合わせください。

1.1

/// inquiry@sur-ron.jp ///

警告

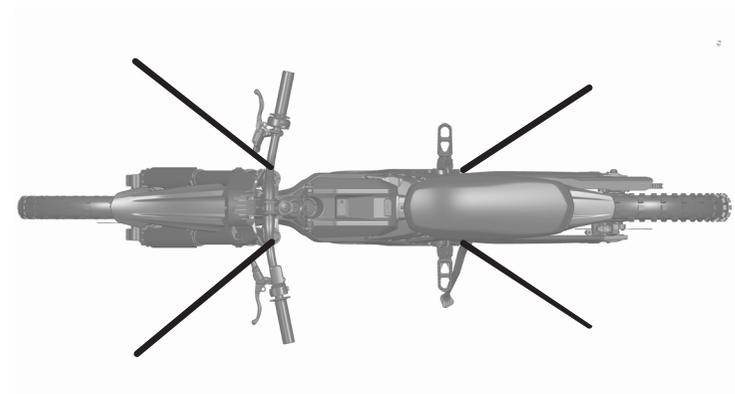
コントローラー、バッテリーパック、モーター、または充電器に不具合が生じた場合は、直ちにサーロン正規販売店に連絡し、交換または修理を受けてください。

-FETCH LIGHT-飛艇乗-

はじめに

輸送

輸送時には、ライトビーをタイダウンベルト等で輸送フレームにしっかりと固定することを強く推奨します。傷やその他の損傷を減らすため、タイダウンベルト固定部の養生をお勧めします。図に示すポイントに従ってタイダウンベルトを固定することを推奨します。前方の2本はハンドルバーに、後方の2本は左右のスイングアームに固定します。タイダウンベルトを固定する際は、チェーンやブレーキラインを避けてください。タイダウンベルトはバイクに対して45度の角度で固定する必要があります。使用するタイダウンベルトの取扱説明書に従ってください。



-FETCH LIGHT-飛艇乗-

1.2

安全情報

安全なご使用方法

Light Beelは高性能電動バイクであり、細心の注意を払って扱う必要があります。

日本の法令および規制を遵守してください。ライトビーオフロードバージョン（Xバージョン）は公道での走行が禁止されています。

適切な安全装備（地域/国家認定のヘルメット、ゴーグル、ライディングブーツ、グローブ、保護服を含む）を着用し、潜在的な負傷リスクを軽減してください。

オートバイ事故による負傷の大半が脚部・足部の衝撃によるものであるため、モトクロスブーツの使用を強く推奨します。

ライトビーを操作する前に、本マニュアルに記載されているすべての警告、指示、および安全ラベルをよくお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

ライトビーを運転する前に、電動バイクを運転するスキルを有していることを必ず確認してください。

ライトビーを運転する前に、アルコールや薬物を摂取しないでください。

ライトビーを運転する際は、ご自身の運転行動に責任を持ってください。危険で無謀な運転はしないでください。公共の安全やご自身の安全を損なうような運転はしないでください。

使用前には、必ず7.1ページの「乗車前点検」項目のすべてと、バッテリーインジケーターに表示されるバッテリー残量を確認してください。

ライトビー電動バイクの良好な状態が安全の鍵です。本マニュアルに記載の定期点検表および調整要件を必ず遵守してください。乗車前に徹底的に点検すべき全項目の重要性を理解しておくことが不可欠です。

ライトビー電動バイクの改造は安全性を損ない、重大な負傷を引き起こす可能性があります。サーロン社および株式会社コハクジャパンは、いかなる無許可の改造についても責任を負いません。

-FETCH LIGHT-飛騨車-

2.1

安全情報

ライトビーのバッテリーパックは、使用后必ず充電してください。充電が完了後、直ちにAC電源から外してください。充電後は充電器と電源を必ず外してください。充電は開放された場所で行うか、監視下で行ってください。

キーがオフの位置にあり、メイン電源スイッチがオフにされている場合、ライトビー電動バイクの電子機器は電力を消費しません。

長期間（30日以上）乗らない場合は、バッテリーパックを最初に充電し、完全に充電されていることを確認する必要がある場合があります。

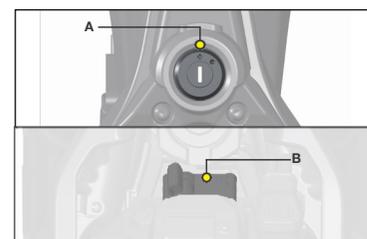
充電残量が少ない状態でのバッテリーパックの保管は損傷の恐れがあります。

2.2

ライトビーに重い物を積載したり、アクセサリーを追加しないでください。大型でかさばる物品は、ライトビーの安全性と性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

重要なお知らせ

以下の重要な操作上の注意事項：走行していない際は、必ずキースイッチAとメイン電源スイッチBをOFF位置に切り替えてください。ライトビー電動バイクは完全に無音であるため、バイクが待機状態にあることに気づきにくいです。乗降時に電源を入れたままにすると事故が発生する可能性があります。



-FETCH LIGHT-飛騨車-

2.3

注意

Light Beeのバッテリーパックは、純正充電器でのみ充電してください。

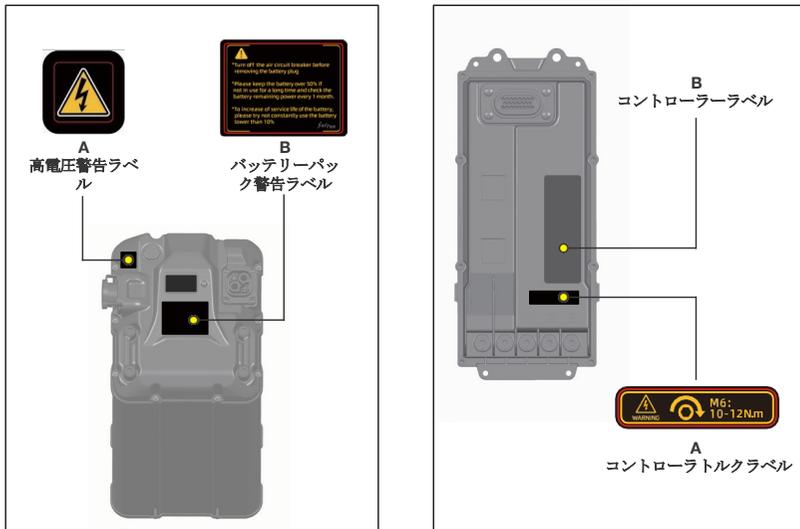
バッテリー寿命を最大限に延ばすため、各走行後はすぐにバッテリーパックを充電してください。過放電はバッテリー寿命に悪影響を及ぼします。

本マニュアルに記載されているバッテリーパックの保管および充電に関する指示に従わない場合、ライトビー電動バイクの保証が無効となる可能性があります。これらのガイドラインは、バッテリーパックの効率と性能を最大限に確保するため、厳格なテストを経て策定されています。

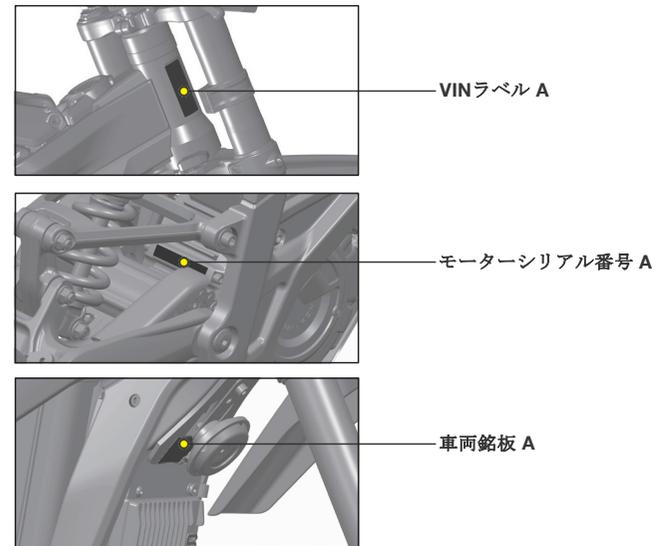
2.4

重要ラベルの位置

2.5



2.6

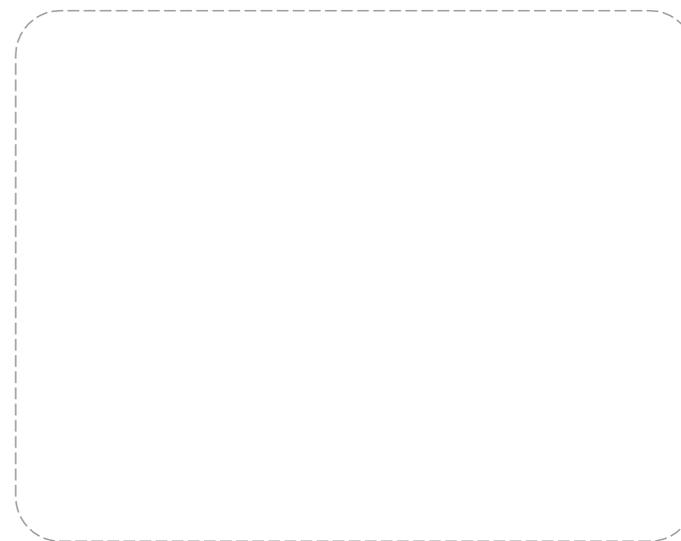


VINラベル



2.7

-FETCH LIGHT-飞艇架-

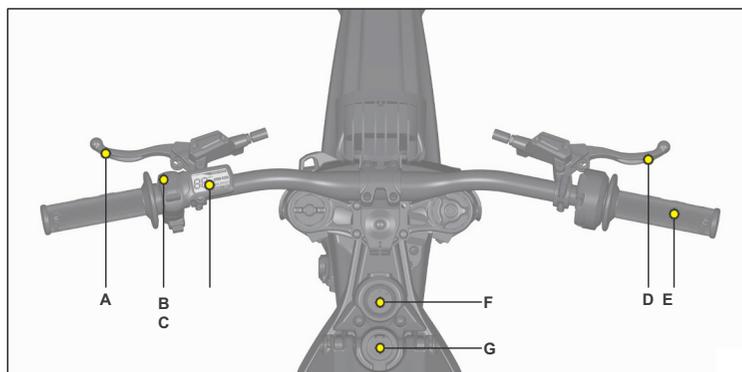


2.8

-FETCH LIGHT-飞艇架-

機能部品概要

3.1



-FETCH LIGHT-飞艇车-

機能部品概要

3.2

A. リアブレーキレバー

仕様と操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

B. 左コンビネーションスイッチ

説明および操作については、6.2ページの「機能紹介」を参照してください。

C. ダッシュボード

説明および操作については、4.1ページの「表示およびインジケータ」および5.1ページの「機能設定」を参照してください。

D. フロントブレーキレバー

仕様と操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

E. スロットルグリップ

説明および操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

F. キースイッチ

説明および操作については、7.4ページの「始動および操作」を参照してください。

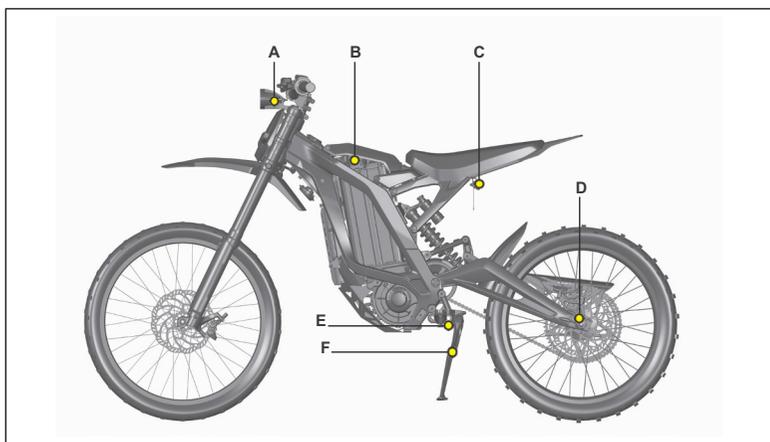
G. USBポート

5V 2.4A 標準USB-Aポート。

-FETCH LIGHT-飞艇车-

機能部品概要

3.3



-FETCH LIGHT-飞艇来-

機能部品概要

3.4

A. ヘッドライト

ヘッドライトの交換については、10.14 ページの「メンテナンス」を参照してください。

B. バッテリー充電ポート

説明と操作については、8.2ページの「電源管理」を参照してください。

C. テールライト

テールライトの交換については、10.14 ページの「メンテナンス」を参照してください。

D. チェーンアジャスター

左右両側にあります。
「メンテナンス」10.12ページを参照してください。

E. サイドスタンドスイッチ

このスイッチはサイドスタンドが下がっている状態での誤作動を防ぐ安全センサーです。

F. サイドスタンド

サイドスタンドは駐車時にオートバイを支えます。駐車時はキースイッチをOFFの位置にしてください。

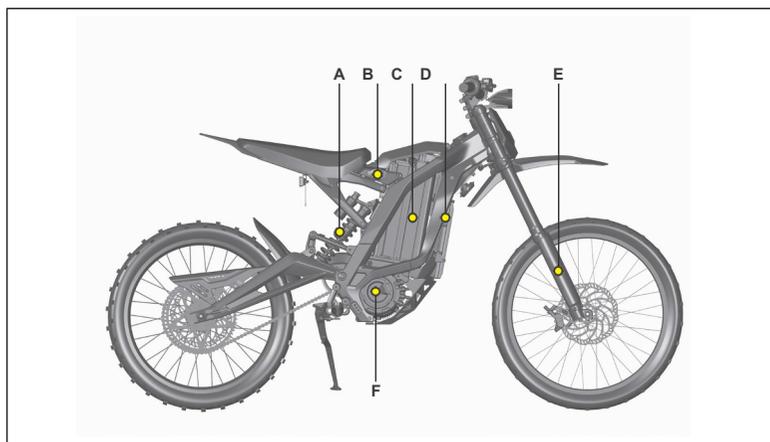
注意

オートバイは平らで安定した場所に駐車してください。オートバイが倒れて損傷する恐れがあります。

-FETCH LIGHT-飞艇来-

機能部品概要

3.5



-FETCH LIGHT-飞起来-

機能部品概要

3.6

A. リアショックアブソーバー

説明および操作については、7.9 ページの「始動および操作」を参照してください。

B. バッテリーコンパートメントロック

説明および操作については、7.5 ページの「始動および操作」を参照してください。

C. バッテリーパック

説明と操作については、8.1 ページの「電源管理」を参照してください。

D. コントローラ

詳細および操作については、9.1 ページの「電源システム管理」を参照してください。

E. フロントフォーク

説明および操作については、7.7 ページの「始動および操作」を参照してください。

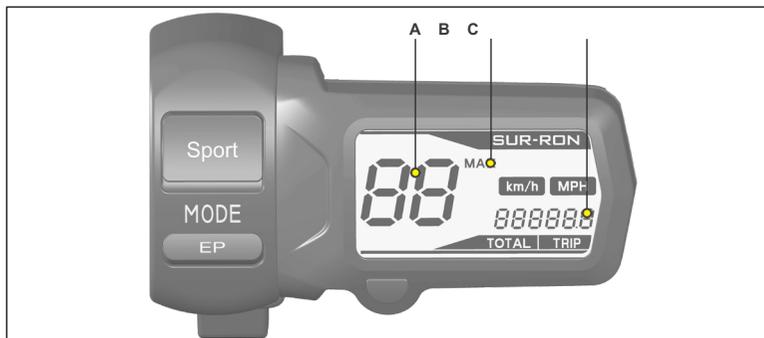
F. モーター

説明および操作については、9.1 ページの「電力システム管理」を参照してください。

-FETCH LIGHT-飞起来-

表示とインジケータ

4.1



-FETCH LIGHT-飞起来-

表示とインジケータ

4.2

デジタルインジケータ概要

A. スピードメーター

速度計は、キロメートル毎時 (km/h) またはマイル毎時 (mph) で表示されるデジタル表示です。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

B. 最高速度

「MAX」が表示されている場合、速度計の値は前回の走行における最高速度です。

C. 走行距離計

走行距離計は、走行距離または総走行距離を表示します。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

-FETCH LIGHT-飞起来-

機能設定



走行距離のリセット設定

5.1

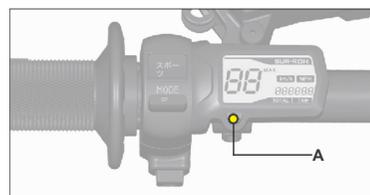
ダッシュボードに表示される情報は、長押しまたは短押しで設定できます。

走行距離
計表示



総走行距離とトリップ走行距離の切り替え:

ダッシュボードの電源が入っており、速度がゼロの状態、Aボタンを短押しすると、総走行距離 (TOTAL) とトリップ走行距離 (TRIP) を切り替えられます。



最高速度と走行距離のリセット:

ダッシュボードの電源が入っており、速度がゼロの状態、走行距離モードに切り替えてAボタンを2秒以上長押しすると、最高速度と走行距離がリセットされます。

機能設定

システム機能モードの設定

工場出荷時のデフォルト設定では、回生ブレーキは中レベルに設定され、ブレーキカットオフは無効になっています。

バイクの電源投入後、スタンバイ状態でサイドスタンドが下がっている場合、システム機能モードは20秒以内が設定可能状態となります。

システム機能モード設定状態では、フロント/リアブレーキレバーを短く引く(約0.5秒)と長く引く(約2秒)の組み合わせで異なる機能を設定できます。設定完了後、インジケータの点滅回数が新たに設定された機能モードを示します。例えば、診断ケーブルインジケータが4回点滅した場合、回生ブレーキがハイレベルに設定されていることを示します。

5.2

制限時間を超過すると、システム機能モード設定状態から自動的に終了し、電源を再投入後に再度設定可能となります。

速度
表示ユニット



マイル毎時 (mph) とキロメートル毎時 (km/h) の切り替え:

1. ダッシュボードの電源がオフの状態、Aボタンを押し続け、その後ダッシュボードの電源を入れ、Aボタンを2秒以上押し続けると切り替えられます。
2. MPH マイル単位を選択時に表示される時間 (MPH)。
3. km/hを選択すると、(km/h) と表示されます。

システム機能設定

システム機能インジケータ

診断ケーブルのインジケータ (手順については11.1ページを参照) が、システム機能が正常に設定されたことを示しています。

機能設定

設定可能な具体的な機能は（ブレーキレバーの引き方の組み合わせにより）：

- ① 回生ブレーキを低程度にする。
ブレーキ操作：短2回＋長1回
インジケータ：2回点滅。
- ② 回生ブレーキを中程度にする。
ブレーキ操作：短3回＋長1回
インジケータ：3回点滅
- ③ 回生ブレーキを高程度にする。
ブレーキ操作：短4回＋長1回
インジケータ：4回点滅
- ④ 回生ブレーキをオフにする。
ブレーキ操作：短7回＋長1回
インジケータ：7回点滅
- ⑤ サイドスタンドスイッチと転倒センサーをオフにする。
ブレーキ操作：短6回＋長1回（車両再始動時に自動復帰）
インジケータ：6回点滅

⑥ ブレーキカットオフをオフにする。
ブレーキ操作：短8回＋長1回
インジケータ：8回点滅する

⑦ ブレーキカットオフをオンにする。
ブレーキ操作：短9回＋長1回
インジケータ：9回点滅

⑧ スロットル感度設定機能。
工場出荷時はノーマルモードです。

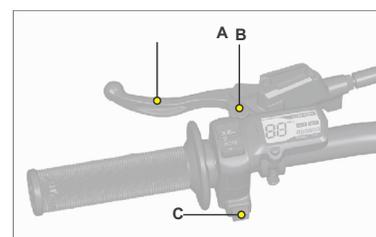
プロモード
ブレーキ操作：短5回＋長1回
インジケータ：12回点滅

ノーマルモード：短5回＋長1回
インジケータ：11回点滅

この操作を繰り返すことで、ノーマルモードとプロモードを切り替えられます。

機能紹介

ノーマル

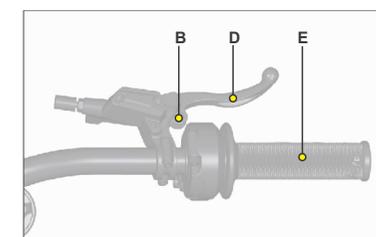


A. リアブレーキレバー

レバーを後ろに引くと、リアブレーキシステムを操作します。

B. ブレーキレバー調整ネジ

この調整ネジは、ブレーキレバーとハンドルバー間の間隔を調整するために使用します。ブレーキレバーの位置は、2mm六角レンチを使用して調整し、個人により適した位置に設定します。



C. ホーンボタン

メイン電源スイッチとキースイッチがONの位置にある場合、ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。ライトビー電動バイクは走行時に非常に静かであり、

歩行者や他の運転者に注意を促すために使用できます。

D. フロントブレーキレバー

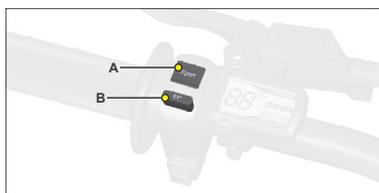
レバーを後方へ引くと、フロントブレーキシステムを操作します。

E. スロットル

スロットルは速度制御に使用されます。

機能紹介

ライダーアシストモードのスイッチ

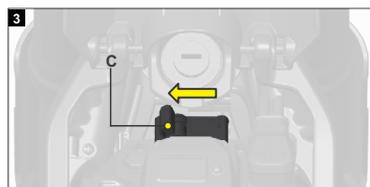
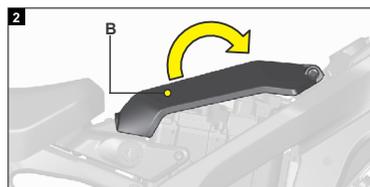
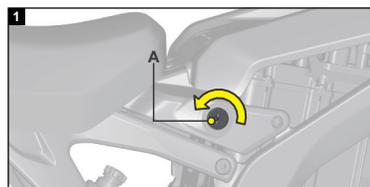


6.2

A. スポーツモード：スポーツモードでは、モーターサイクルは爆発的な加速力を発揮し、オフロードトラックやトレイルなどの未舗装路に適しています。本モードはバイクに慣れた後に使用することを推奨します。

B. EPモード：EPモード時は、出力と加速が緩やかになります。バイクの操作に慣れていないユーザーに適しています。

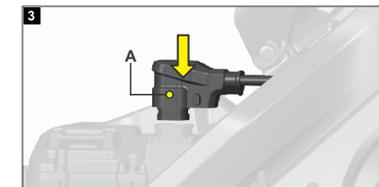
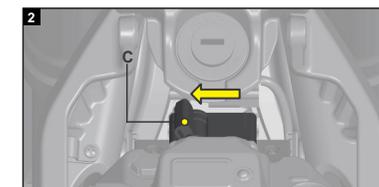
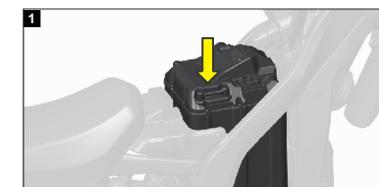
バッテリーコンパートメントの取り外し



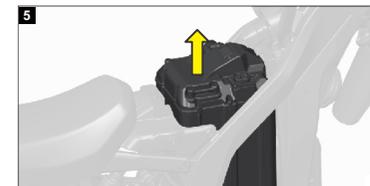
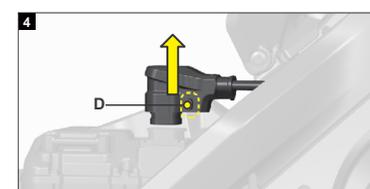
-FETCH LIGHT-飛起飛-

機能紹介

バッテリーコンパートメントの取り付け



6.3



1. キーをバッテリーコンパートメントロックAに挿入し、反時計回りに回してロックを解除します。

2. バッテリーコンパートメントカバーBを開ける

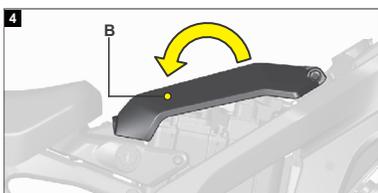
3. メイン電源スイッチCをオフにします。

4. ボタンDを押したまま、矢印の方向に放電プラグを取り外します。

5. バッテリーパックを矢印の方向（上方向）に外します。

-FETCH LIGHT-飛起飛-

機能紹介



6.4

1. バッテリーパックをバッテリーコンパートメントに設置してください。
2. メイン電源スイッチCがOFF位置にあることを確認してください。
3. 放電プラグAをバッテリーソケットに接続してください。
4. バッテリーコンパートメントカバー B を押してロックします。

-FETCH LIGHT-飞起来-

警告

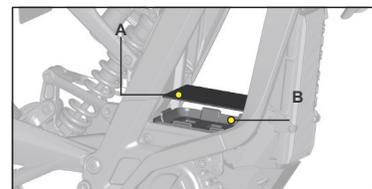
取り外しおよび取り付けの前にライトビーのバッテリーパックを取り外す際は、キースイッチとメイン電源スイッチをOFF位置に設定してください。

バッテリーパックの取り外しおよび取り付け時には、放電プラグをバッテリーコンパートメントの左側外側に配置してください。

バッテリーボトムバッファAとバッテリーパックの取り付け

バッテリーパックを取り外します。説明と操作については、6.2ページの「バッテリーパックの取り外し」を参照してください。

バッテリーボトムバッファAの保護フィルムをはがし、バッテリー底面位置決めブロックBに貼り付けます。



注意

バッテリーパックが明らかに纏んでいる場合バッテリーコンパートメント内では、異常なノイズの継続やオートバイの損傷を防ぐため、バッファを追加することを推奨します。

-FETCH LIGHT-飞起来-

機能紹介

充電器

1. 充電ポートの方向：充電ポートBは誤操作防止機能を備えており、その隙間はバッテリー充電ポートAとの接続に対応しています。

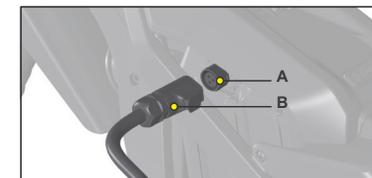
2. 充電操作手順：

① 充電器出力プラグをバッテリーソケットに接続する

② 充電器入力プラグを電源コンセントに接続；

③ 主電源投入後、充電器は自己診断状態に入ります。自己診断に合格すると、通常の充電状態に移行します。

6.5



始動と運転

走行前点検

ライトビー電動バイクを操作する前に、以下の項目を確認し、バイクが正常な作動状態にあることを確認してください。

ハンドル操作

ハンドルレバー、アヘッドステム、ヘッドセットの締め付け状態を確認してください。必要に応じて調整してください。詳細は10.3ページの「トルク管理」を参照してください。

バッテリーパック

バッテリーパックに表示されるバッテリー残量が、走行をサポートするのに十分であることを確認してください。走行距離は実際の使用環境によって異なるため、表示されるバッテリー残量はあくまで目安です。

チェーン

チェーンの張り状態を確認してください。必要に応じて調整または交換してください。詳細は10.12ページの「チェーン」を参照してください。

ブレーキシステム

ブレーキレバーを引いてバイクを押しながら、前輪と後輪が完全にロックできるか確認してください。ブレーキ操作により車輪を完全にロックする必要があります。

スロットル

キースイッチがOFFの位置にあるとき、スロットルを捻って離し、スロットルがスムーズに回転し、自由にアイドル位置に戻るかどうかを確認する。

タイヤ

タイヤの空気圧と溝の深さを確認してください。

冷間時のタイヤ空気圧を確認し、適正な空気圧を維持してください。タイヤの損傷や異常摩耗がないか点検してください。10.11ページに記載の通り、トレッドの深さがタイヤの警告マークに達した場合は、直ちにタイヤを交換してください。

始動と運転

警告

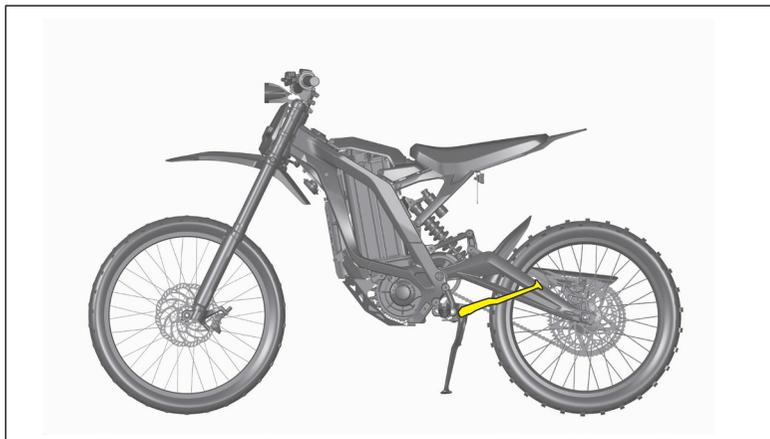
不適切なタイヤ空気圧は、タイヤ故障の一般的な原因であり

タイヤ故障を引き起こす原因であり、深刻なタイヤ破裂、トレッド剥離、電動バイクの制御不能を招き、重大な人身事故につながる可能性があります。タイヤを定期的に点検し、適切な状態を保ってください。

起動と操作

電気系統

ヘッドライトとテールライトが正常に作動するか確認してください。
サイドスタンドスイッチとチルトスイッチが正常に作動するか確認してください。



7.3

-FETCH LIGHT-飛起乗-

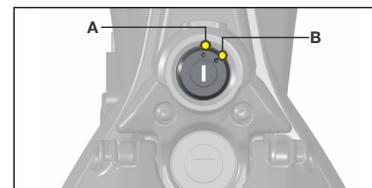
起動と操作

キースイッチ

USB充電ポートホルダーに設置された2ポジションスイッチです。機能は以下の通りです：

OFF A

ON B



OFF 位置

この位置は、ライトビー電動バイクの電源をオフにし、すべての電気システムを停止します。この位置ではキーを取り外すこともできます。

ON 位置

この位置はライトビー電動バイクの電源を入れるためのものです。この位置に切り替えると以下の変化が生じます：

ダッシュボード点灯。
ヘッドライト点灯。
テールライト点灯。

キースイッチの操作方法：

1. キーをキースイッチに挿入し、時計回りに回してキーをOFF位置からON位置に切り替えると、ライトビー電動バイクの電源が入ります。
2. ライトビー電動バイクの電源を入れた後、キーを反時計回りに回してON位置からOFF位置に切り替えると、ライトビー電動バイクの電源が切れません。キースイッチを切った後は直ちにキーを取り外し、盗難防止のため安全な場所に駐車してください。

7.4

-FETCH LIGHT-飛起乗-

始動と運転

バッテリーコンパートメントロック

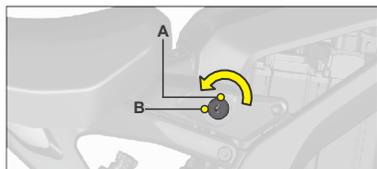
これはフレーム本体の右側に位置する二位置自動復帰スイッチです。機能は以下の通りです：

1. ロック
A
2. ロック解除
B

バッテリーコンパートメントロックの操作方法：

1. ロック位置にある場合、キーを電池コンパートメントロックに挿入し、反時計回りに回してキーをロック位置からアンロック位置に切り替えます。キーがアンロック位置にあると、電池コンパートメントカバーを開けることができます。

2. キーを離すと、キーは自動的に解除位置からロック位置に戻り、ロック位置でキーを抜くことができます。



-FETCH LIGHT- 飛起乗-

7.5

ライトスイッチ

始動

1. キースイッチをONの位置に回してください。
2. バッテリーに表示されている残量が十分であることを確認してください。
3. 周囲に障害物や通行車両がないことを確認した後、サイドスタンドを格納し、スロットルを回して速度を上げ、走行を開始する。

ブレーキ操作

ブレーキレバーはハンドルバーの左右に配置されています。

右のブレーキレバーはフロントブレーキを操作します。左のブレーキレバーはリアブレーキを操作します。

始動と操作

警告

ブレーキ力を徐々に増加させることが可能
ライトビーは、車輪をロックさせずに優しく停止させてください。ライトビーは強力な車両です、十分な練習を行い、安全な緊急停止操作をすべて習得することを強く推奨します。

注意

各走行後、残量を必ず確認してください。
バッテリー残量を確認し、バッテリーパックを適時に充電してください。

駐車

1. スロットルがアイドル位置にあることを確認してください。
2. 車両が転倒した場合に備え、サイドスタンドを下ろしてください。
3. 転倒防止のためサイドスタンドを下ろしてください
3. キースイッチをOFFの位置に回し、キーを取り外し、安全な場所に保管してください。

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

7.6

起動と操作

起動と操作

フロントフォークの調整

注意

減衰調整を限界まで調整する際は最大値より一つ戻すようにしてください。

プリロード

左フロントフォーク上部のノブAを回してプリロードを調整します。「+」記号はプリロードを増やすことを示し、「-」記号はプリロードを減らすことを示します。

プリロードを増やすには、調整ノブAを「+」方向へ時計回りに回します。
方向にノブAを時計回りに回すとプリロードが増加します。

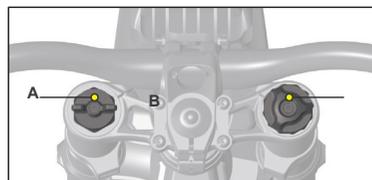
調整ノブAを「-」方向（反時計回り）に回すと、プリロードが減少します。

リバウンド減衰

右フロントフォーク上部のノブBを回してリバウンド減衰力を調整します。「+」記号はリバウンド減衰力を増加させ、「-」記号はリバウンド減衰力を減少させます。

調整ノブBを時計回りに「+」方向に回すと、リバウンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブBを反時計回りの「-」方向に回すと、リバウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなります。



注意

プリロードとリバウンド減衰は道路状況やライダーの体重に応じて適切に調整してください。ダンピングを最大値まで調整することは避けてください。フロントフォークの故障や重大な怪我の原因となる可能性があります。

注意

フロントフォークの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

注意

空気圧を定期的を確認・調整してください。

推奨値：80-100 PSI。

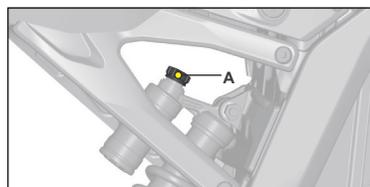


始動と運転

リバウンド減衰の調整

注意

ノブを調整する際は、最大値に達した後1スペース分戻すようにしてください。



注記

リアショックの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

7.9

圧縮減衰

リアショックの右上にあるノブAを回して圧縮減衰力を調整します。「+」記号は圧縮減衰力を増加させ、「-」記号は圧縮減衰力を減少させます。

圧縮減衰力を上げるには、調整ノブAを「+」方向へ時計回りに回します。

方向にノブAを時計回りに回すと、圧縮減衰が増加し調整ノブAを「-」方向に反時計回りに回すと、圧縮減衰力が減少します。

-FETCH LIGHT- 飛起飛 -

始動と操作

注意

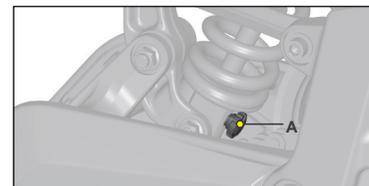
リアショックの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

リバウンド減衰

リアショックの右下にあるノブAを回して、リバウンド減衰力を調整します。「+」記号はリバウンド減衰力を増加させ、「-」記号はリバウンド減衰力を減少させます。

調整ノブAを時計回りに「+」方向に回すと、リバウンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブAを反時計回りの「-」方向に回すと、リバウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなります。



プリロード

調整レンチで調整リングAを回します。

調整リングAを反時計回りに回すとスプリングプリロードが減少し、調整リングAを時計回りに回すとスプリングプリロードが増加します。



7.10

-FETCH LIGHT- 飛起飛 -

起動と操作

電源管理

注意

プリロードの調整は推奨されません
14mmを超える場合、過度のプリロードはリア
ショックの有効ストロークに影響します。減衰
力とプリロードは、路面状況やライダーの体重
に応じて適切に調整してください。減衰力を最
大値まで調整することは避けてください。リア
ショックの故障や重大な負傷を引き起こす可
能性があります。

7.11

注記

リアショックの外観はブランドによって異なる
場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

バッテリーのバイク

ライトビー電動バイクは高性能・高定格のリチウム
イオンバッテリーを採用しており、使用可能環境温
度範囲は-15~40°C (5~104°F) です。最適な動作条
件は周囲温度10~30°C (50~86°F) です。極端な低
温または高温の環境温度は、バッテリーパックの性
能と寿命に影響を与えます。許容範囲を超える温度
でのバッテリーパックの使用は避け、0°C (32°F) 未
満での充電は行わないでください。

バッテリーパックの充電時間は、周囲温度25°C (77°F) で約3時間です。

周囲温度が低すぎると、バッテリーパックの性能に
影響が出ます。走行距離が若干減少するのは正常な
現象であり、温度が動作条件まで回復するとバッテ
リーパックの性能は自動的に回復します。

長期間使用しない場合は、バッテリー残量を40%~
50%に充電し、毎月残量を確認してください。バッ
テリーパックを充電してください。

バッテリー残量が20%を下回った場合、バッテリー
パックの過放電を防止し、性能への影響や損傷を防
ぐため。

バッテリーパックを高圧水銃で洗浄したり、水に浸
漬したりすることは厳禁です。バイク全体の浸水深
は車輪の中心を超えないようにしてください。バッ
テリーパックへの浸水、内部短絡、およびバッテリ
ーパックの永久的な故障を引き起こす可能性があり
ます。

バッテリーパックに水が浸入した場合、またはその
他の問題が生じた場合は、バッテリーパックの充電
や使用を厳禁します。バッテリーパックの発火、焼
損、爆発を引き起こす恐れがあります。

バッテリーパックは防水構造で、内部に高電圧回路
が密封されています。外装の損傷は防水性能を低下
させます。防水構造が損傷した場合は、アフターサ
ービスまでご連絡ください。潜在的な損傷や重大な
危険を避けるため、ユーザーによるバッテリーパッ
クの分解は厳禁です。

8.1

電源管理

電源供給と充電

充電前に、グリッド電圧が充電器がサポートする入力電圧範囲内にあるかどうかを確認してください。

米国および日本向け：100~120V AC、45~65Hz;

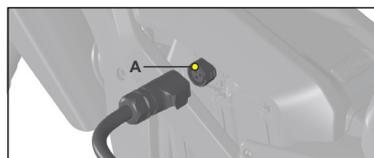
8.2

充電前に、AC電源ネットワークのコンセント負荷電力が充電器の電力要件を満たしているか確認してください（1000W以上を推奨）

充電時は、まず充電器の出力プラグをバッテリーパックに接続し、その後充電器の入力プラグをAC電源に接続してください。

充電時は、充電器の出力プラグをオートバイ左側にあるバッテリー充電ポートAに接続してください。

バッテリーパックが完全に充電されると、充電器は自動的に電源が切れます。充電器の電源とバッテリーに接続された充電プラグを必ず外してください。



充電時の注意事項
充電時は、オートバイ／バッテリーパックを安全な場所に置き、子供の手の届かない場所に置いてください。
充電直後のバッテリーパックの使用は避けてください。充電完了後は、使用前に充電器を外してください。使用前に10分以上放置することを推奨します。
充電中は充電器上のいかなる物も覆わないでください。充電器は屋内専用です。乾燥した換気の良い環境でご使用ください。
充電完了後はバッテリーパックの充電ポートキヤップを必ずお付けください。

-FETCH LIGHT- 飛起来-

電源管理

警告

バッテリーパックは常に換気の良い環境で充電し、可燃物から離して保管してください。雨天時の充電は避けてください。

バッテリーパックは専用充電器でのみ充電可能です。純正充電器またはメーカー指定の専用充電器を使用してください。非純正の充電器やアクセサリの使用は、バッテリーパックの損傷、故障、さらには危険を引き起こす可能性があります。

警告

バッテリーパックは0°C (32°F) 以下で充電しないでください。バッテリーパックの損傷の可能性があります。バッテリーパックの温度が0°C (32°F) 以上に戻った後、再度充電できます。バッテリーパック内部の最大許容充電温度は60°C (140°F) です。

バッテリー内部の温度が55°C (131°F) を超えると充電できません。自然冷却により温度が低下すると充電が開始されます。

激しい走行後はバッテリーパックが急速に放電し発熱します。周囲温度が低くても、バッテリーパック内部温度は高い可能性があります。

バッテリーパックの温度低下は自然放置によるもののみとなります。

バッテリーパックを放置して、常温に戻してください。他の方法でバッテリーパックの温度を急激に上げたり下げたりしないでください。高出力動作や高温動作直後は、バッテリーパックをすぐに充電できない場合があります。バッテリーパックが30分以上冷却された後に充電を開始してください。バッテリー管理ポリシーにより、内部温度が高すぎる場合、バッテリー寿命を保護するため充電は許可されません。

8.3

-FETCH LIGHT- 飛起来-

電力システム管理

8.4

重大な警告

以下の状況に該当する場合、充電を直ちに中止し、電源をすぐに切断してください。電動バイクは使用せず、Surrönのアフターサービスに連絡するか、できるだけ早く整備拠点へお持ちください

- ・バッテリーパックの筐体が損傷している場合
- ・充電中に臭いがする場合
- ・バッテリーパックまたは充電器が過熱した場合
- ・バッテリーパックから煙または火災が発生した場合。

万一、こうした症状が発生した場合は、さらなる被害を防ぐため直ちにバッテリーパックを水に浸してください。

注意

2025年モデルLight Beeバッテリーパックの低消費電力保護機能の継続的な最適化により、バッテリーパックが6回充電された場合、または車両の回路ブレーカーがOFF位置にある場合、バッテリーパックは休眠保護状態を維持することがあります。充電を開始するには、バッテリーLCD画面横にあるボタンを押してバッテリーパックを起動する必要があります。

パワーシステム

ライトビー電動バイクの動力システムは主にモーターとコントローラーで構成されています。

警告

ユーザーによるモーターの無断分解は厳禁です。

モーターを分解しないでください。分解した場合、位置センサーの誤作動や対応するシールの損傷を引き起こし、モーター故障の原因となる可能性があります、いかなる場合でも保証の対象外となります。

コントローラー及びそのケーブルを分解することは固く禁じます。感電や火傷などの重大な結果を招く恐れがあります。コントローラーは高電圧精密電子部品であり、ケーブルは高電流を流します。誤った配線接続やネジのトルク不足は、コントローラーや電源システムに損傷を与える可能性があります。

電力システム管理

9.1

警告

Light Beeの動力システムは、Surrönが認定した訓練を受けた専門技術者による修理または交換が必要です。ユーザーによる動力システムの分解や改造は禁止されています。動力システムを水に浸すことは禁止されており、そうした場合、損傷を引き起こします。

電力ケーブルは運転中に高電流が流れるため、ケーブルが正しく確実に接続されていることを確認し、ケーブル固定ボルトのトルクと締付け状態が要求を満たしていることを確認し、ケーブル絶縁も要求を満たしていることを確認してください。電力系統の構成部品やケーブルの分解は厳禁です。

電力システム管理

警告

本電源システムは60Vの高電圧システムです。
オートバイの運転中、修理中、および保守中は
オートバイと電源ケーブルが十分に絶縁されて
いることを確認してください。

9.1

-FETCH LIGHT-飞起来-

電力システム管理

9.2

-FETCH LIGHT-飞起来-

メンテナンス

メンテナンス項目

以下の表は、ブレーキフルードの交換時期を示しています。

交換するブレーキフルードを示します。

| 部品 | タイプ | 容量 |
|----------|------|----|
| ブレーキフルード | DOT4 | |

メンテナンス記録

10.2ページの定期メンテナンス表に従ってください。各定期点検またはメンテナンス実施後、本マニュアルのメンテナンス記録に必要事項をすべて記録してください。

10.1

定期点検

ライトビーは、安全かつ信頼性の高い性能を確保するため、定められたスケジュールに従ってメンテナンスを行う必要があります。必要なメンテナンススケジュールでは、電動バイクの点検整備の頻度と、注意が必要な項目が明記されています。作業の実施に不安がある場合や支援が必要な場合は、お近くのサーロン正規販売店にご連絡の上、バイクのメンテナンスをご依頼ください。保証は無効となります。

電気モーターサイクルの不適切なメンテナンスまたは修理によって損傷、故障、または性能上の問題が生じた場合。

本定期整備表のサービス間隔は未舗装路面での走行条件に基づいています。湿潤または粉塵の多い地域での走行が頻繁な場合、一部の項目はより頻繁な整備が必要となります。個々のニーズや使用状況に応じた推奨事項については、最寄りの販売店にご相談ください。走行距離に関わらず、ライトビー電動バイクは少なくとも6ヶ月に1回の整備を行うことを推奨します。

注意

すべてのネジとボルトの締め付けトルクをトルクを確認することをお勧めします。

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

メンテナンス

定期メンテナンス表

ライトビー電動バイクを最適な作動状態に保つため、本表に従い定期的なメンテナンスを実施してください。初期メンテナンスは極めて重要であり、決して怠ってはなりません。時間と走行距離の両方が記載されている場合は、最初に表示される間隔に従ってください。

| ライトビー電動バイク定期メンテナンス表 | | | | | | | |
|------------------------|--------|-------|-------|--------|--------|--------------|--------------|
| 点検項目 | 毎回の走行後 | 100km | 500km | 2000km | 5000km | 10000km/12ヶ月 | 20000km/24ヶ月 |
| タイヤ（摩耗） | ●/↘ | | | | | ●/↘ | ↘ |
| ブレーキパッド摩耗 | | ● | ● | ● | ●/↘ | ●/↘ | ↘ |
| ブレーキディスク摩耗 | | ●/↘ | ●/↘ | ●/↘ | ●/↘ | | ↘ |
| チェーン | | | | ● | ●/↘ | | ↘ |
| スプロケット（フロント&リア） | | | | ●/↘ | | | ↘ |
| プライマリベルト&プライマリドライブプーリー | ● | | | | | | |
| バッテリーパック容量 | ● | | | | | ↘ | ↘ |
| フロントフォーク&リアショック | | ● | ● | ● | ● | ↘ | ↘ |
| ブレーキフルード | | | | ● | ● | | |
| ベアリング | ● | ↘ | | | | | |
| ライト | ● | | | | ↘ | ↘ | ↘ |
| ホイールスポーク | | | | ● | ● | ●/↘ | ●/↘ |
| スイングアーム保護ブロック | | | | ● | ● | ● | ● |
| チルトスイッチ | ● | | | ●/↘ | ●/↘ | ●/↘ | ●/↘ |
| サイドスタンドスイッチ | | | | | | | |
| ●点検 | ↘交換 | ↘点検 | | | | | |

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

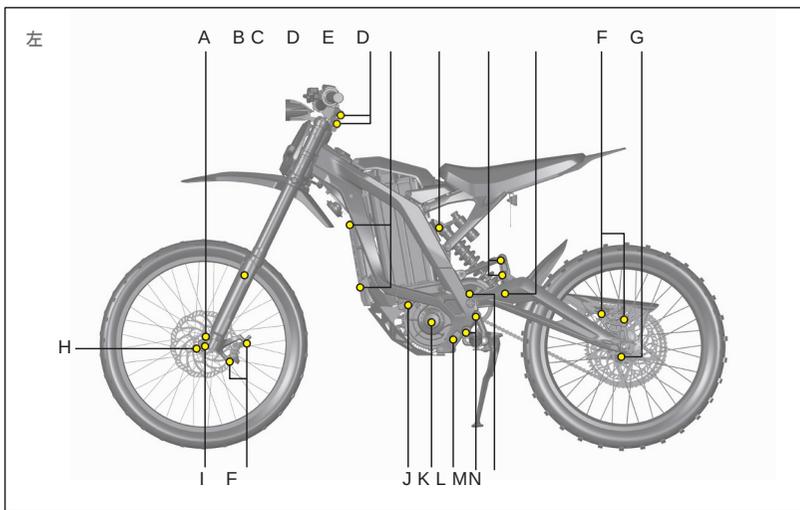
10.2

メンテナンス

トルク管理

ライトビー電動バイクの以下の締結部品を定期的に点検し、指定トルクで締め付けてください。

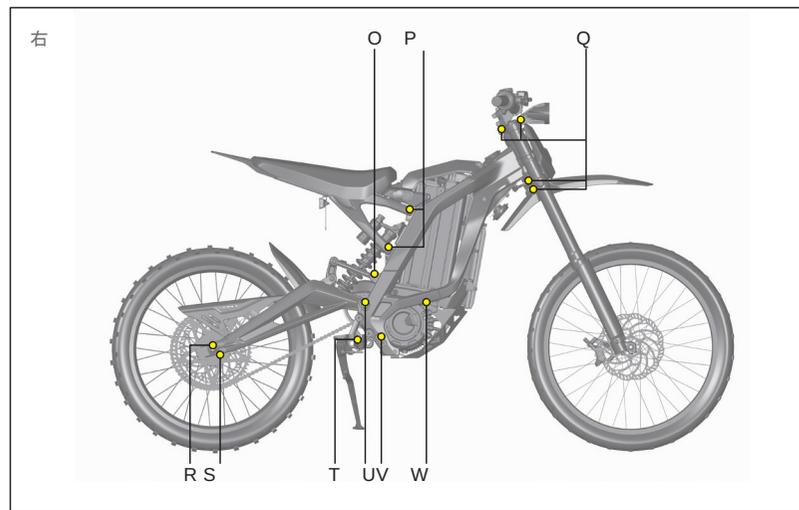
10.3



-FETCH LIGHT-飞起乗-

メンテナンス

10.4



-FETCH LIGHT-飞起乗-

メンテナンス

| | 項目 | トルク | 仕様 | 注記 |
|---|--|-----------------|------------------------|-------------------------------------|
| A | フロントディスク | トルクス皿頭ネジ M5*10 | トルクス皿頭ネジ M5*10 | / |
| B | ハンドルバーヘッドシステム | 5-6N.m | 六角穴付きボルト M6*20 | / |
| C | コントローラー取付ネジ | 8-10N.m | 六角穴付きボルト M6*16 | / |
| D | リアショック上部&下部取付ネジ | 20-25N.m | 六角穴付き半ねじ L50-M8 | / |
| E | リアショックリンケージアームア クスルフロント&リアブレーキキ ャリバー取付ネジ | 20-25N・m | 六角穴付きボルト（半ねじ） L50-M8 | / |
| F | フロント&リアブレーキキャリバー取付ネジ | 12N.m | 六角穴付きボルト M6*18 | / |
| G | リアブレーキディスク取付ボルト | トルク10- 12N.m | トルクス皿頭ネジ M6*13 | ネジロック剤が必要、KAFUTER K-0609 または同 等品 |
| H | フロントアクスルピンチボルト | 12N.m | 六角穴付き | / |
| I | フロントホイールアクスル | 20-25N・m | T字ボルト | / |
| J | モーター左上取付ボルト | 20-25N.m | 六角穴付きボルト M8*40 | / |
| K | プライマリブリー固定ボルト | 40-50N.m | フランジ付き六角ナット M12*1.25 | / |
| L | モーター左下取付ボルト | 20-25N.m | 六角穴付きボルト M8*45 | / |
| M | 左右フットペグ取付ネジ | 25-30N.m | 六角穴付きボルト M8*25 | / |
| N | プライマリドライブ後部ブリー取付ネジ | 10-12N.m | 六角穴付きボルト M6*16 | / |
| O | 連結取付ネジ | 20-25N・m | 六角穴付きボルト M8*35 | / |
| P | サブフレーム | 15-20N.m | 六角穴付きボルト M8*20 | / |
| Q | ステアリングシステム上部&下部接続プレート | 8-10N.m | 六角穴付き | / |
| R | 後輪車軸 | 55-60N・m | T字シャフトボルト M12*1.25*198 | / |
| S | リアスプロケット取付ネジ | 20-25N.m | 六角穴付きボルト M8*16 | / |
| T | フットペグ左右取付ボルト | 40-45N.m | フランジ付き六角ナット M10*1.25 | ネジロック剤が必要、KAFUTER K-0609 または同 等品 |
| U | スイングアームピボットシャフト | 30-35N.m | M10*1.0 | / |
| V | モーター右下取付ボルト | 20-25N・m | 六角穴付きボルト M8*25 | / |
| W | モーター右上取り付けボルト | 20-25N・m | 六角穴付きボルト M8*25 | / |

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

メンテナンス

バッテリーの取り扱い

注意

1. バッテリーはリチウムイオンバッテリーシステムです。メンテナンスは不要ですが、定期的
に充電が必要です。長期間使用しない場合は、
保管前にバッテリーパックの充電量を約40%~
50%に保ってください。毎月残量を確認する必
要があります。バッテリーパックの充電量が
20%を下回った場合は、過放電による性能低下
や損傷を防ぐため、再充電を行ってください。
2. バッテリーパックは低温・高温環境を避けて
保管してください。直射日光の当たる場所での
保管は避けてください。長期間使用しない場合
は、周囲温度10°C~30°C(50°F~86°F)の環境で
保管してください。

注意

3. 二輪車整備の修理または分解の資格を有する
Surren正規販売店にて修理・メンテナンスを行
ってください
4. バッテリーパックの廃棄は、日本の法律に従
ってください。使用済みのバッテリーパックは
、サーロン・ジャパン（株式会社コハクジャパ
ン）までご連絡のほどよろしくお願いたします。

10.6

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

10.5

メンテナンス

ブレーキシステム

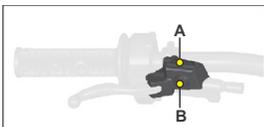
このセクションでは、ライトビー電動バイクのブレーキシステムのメンテナンス方法について説明します。ブレーキパッド（フロントとリアのブレーキパッドは共通です）の交換方法、およびフロントとリアのブレーキシステムにおける推奨ブレーキフルードの種類と液面レベルについて記載しています。

ブレーキシステムのエア抜き

ユーザーはブレーキシステムからエア抜きを行う必要がありますが、これは指定の正規販売店でのみ実施可能です。

ブレーキフルードレベルチェック

ブレーキフルードリザーバータンク



ブレーキフルードの液面は点検窓Bから確認できます。液面が点検窓Bの1/3より低い場合は、ブレーキフルードを補充してください。ブレーキフルードリザーバーを開ける前に、リザーバーキャップAのほこりや汚れをすべて拭き取り、ブレーキフルードの汚染を防いでください。

ブレーキフルードの液面が低い場合は、ブレーキパッドの摩耗または油圧システムの漏れを示している可能性があります。ブレーキパッドの摩耗状態と油圧システムの漏れを確認してください。新しい鉱物系ブレーキフルードは密封容器に入ったもののみを使用してください。ブレーキフルードの補充手順は以下の通りです：

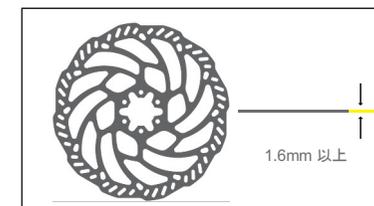
1. ブレーキフルードリザーバーのキャップにある2本のネジを緩め、ブレーキフルードリザーバーのキャップとリザーバーガスケットを取り外します。
2. 新しい鉱物油ブレーキフルードを補充します。
3. キャップのシールを確認し、摩耗や損傷がなく、位置が正しいことを確認してください。
4. リザーバーキャップのネジを取り付け（トルク：2.5N・m）。

-FETCH LIGHT-飛起來-

10.7

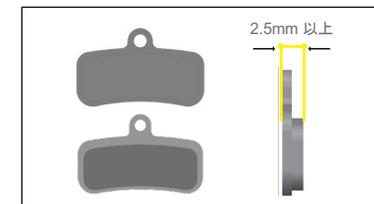
メンテナンス

ブレーキディスク点検



ブレーキディスクの厚さは定期的に点検する必要があります。最小厚さは1.6mmです。

ブレーキパッド点検



注意

塗装面にブレーキフルードを飛散させないでください。

塗装面を傷つける恐れがあるため、表面を拭かないでください。プラスチック部品にブレーキフルードをこぼすと腐食の原因となります。リザーバーキャップを外す前に、必ずリザーバーの下に油吸取タオルを敷いてください。

警告

液面レベルを確認する前に、ライトビー電動バイクは平坦な場所で直立状態にし、ハンドルバーは中央位置に保つ必要があります。これにより、リザーバータンクが水平位置にあることを保証します。

新しいブレーキフルードを追加する際、ブレーキフルードが溢れた場合は、他の部品の汚染を防ぐため直ちに除去してください。

-FETCH LIGHT-飛起來-

10.8

メンテナンス

ブレーキパッドは定期点検表に指定された間隔で点検する必要があります。詳細は10.2ページを参照してください。ブレーキキャリア側からブレーキパッドの残量を目視で確認してください。

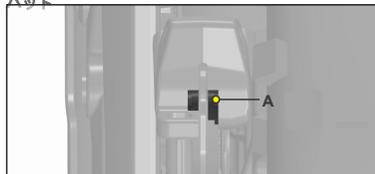
フロントまたはリアのブレーキパッドの厚さが2.5mm未満の場合は、ブレーキパッドを交換してください。ブレーキパッドが損傷している場合は、損傷の程度にかかわらず、両方のブレーキパッドを直ちに交換してください。

10.9

ブレーキパッドの交換

新しいフロントおよびリアブレーキパッドAまたはブレーキディスクを交換した後は、ブレーキディスクとブレーキパッドが適合し、互いに馴染むよう、点検と慣らし運転を行うことを推奨します。適切な慣らし運転により、制動感が向上し、制動時の異音を低減または解消できます。

フロント&リアブレーキパッド



注意

ブレーキパッドは必ず対で交換してください

警告

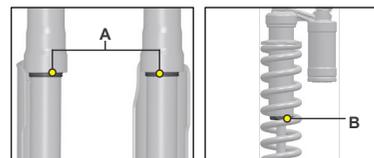
新しいブレーキシステムまたは新しいブレーキパッドを使用する場合、初期の制動力が弱い場合があります。ブレーキシステムが正常な制動力を発揮できるよう、低速走行でブレーキパッドとブレーキディスクの慣らし運転を行ってください。

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

メンテナンス

ガスボンベメンテナンス

1. ショックアブソーバーの表面は、特にメインチューブ表面に付着した泥や砂について、各走行直後に清掃することを推奨します。高压洗浄機で洗浄する際は、防塵シールAおよびBに向けて上方への洗浄を厳禁します。これにより泥や砂がシール内部に流入し、漏れの原因となります。
2. 中性洗剤と柔らかい綿布のみを使用して清掃してください。腐食性溶剤は防塵オイルシールを損傷する恐れがあります。
3. 洗浄後、メインチューブの表面に潤滑グリースを塗布し、表面全体を十分に潤滑することを推奨します。



-FETCH LIGHT- 飛起乗-

警告

ショックアブソーバーには高圧ガスまたは液体が含まれている。

ガスまたは液体を含んでいます。ショックアブソーバーの改造や分解を試みないでください。

走行後はショックアブソーバー及びガスボンベが高温になっている場合があります。火傷の恐れがありますので、直接触れないでください。ショックアブソーバーの不適切な操作は、損傷、爆発、および重大な人身事故を引き起こす可能性があります。

メンテナンスについては、10.2ページの定期メンテナンス表を参照してください。調整については、7.7ページおよび7.9ページを参照してください。

10.10

メンテナンス

ホイールとタイヤ

ホイールとタイヤに以下の不具合がないか確認してください：

リムの変形またはひび割れ；
リムへの衝撃痕；スポークの
緩みまたは変形；

トレッド部またはサイドウォール部の切り傷、ひび割れ、貫通損傷、トレッドブロック欠損
タイヤの膨らみ；

タイヤトレッドの偏摩耗

タイヤ取り付けラインの高さが不均一。
上記のいずれかの状態を確認した場合は、直ちにホイールまたはタイヤを交換してください。

10.11

警告

**不適正なタイヤ空気圧、
タイヤ故障の一般的な原因です。長期間にわたる不適切なタイヤの空気圧はタイヤ損傷、トレッド剥離、さらにはオートバイの制御不能を引き起こし、重大な人身事故につながる可能性があります。**

警告

走行前には必ずタイヤ空気圧を確認し、適切な空気圧に調整してください。タイヤが冷えている状態で、正確な空気圧計を使用してタイヤの空気圧を確認してください。タイヤの空気圧が低すぎると、外側のタイヤの転がり抵抗が増加し、チューブがずれる可能性もあります。

標準タイヤ空気圧表

| タイプ | フロント | リア |
|-------|--------|--------|
| オフロード | 225kPa | 225kPa |

注記

オフロードタイヤの場合、トラックやトレイル走行時には、それに応じてタイヤ空気圧を下げることをお勧めします。

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

メンテナンス

チェーン

チェーンの点検およびメンテナンスについては、10.2ページの定期メンテナンス表を参照してください。

- チェーンとスプロケットを清潔に保ってください。
- チェーンの摩耗、張力、潤滑状態を確認してください。

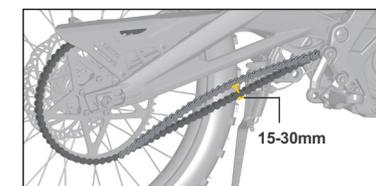
(1) キースイッチからキーを抜いた後、メイン電源スイッチをオフにし、リフトスタンドで車体を支え、後輪を浮かせた状態にします。チェーンを上下に動かし、振れ幅が推奨範囲（15～30mm）内にあるか確認してください。

- 調整時は、まず後輪のアクスルナットを緩め、その後左右の調整ボルトを調整してチェーンの張りを推奨範囲内に収める。
- チェーンには適量のチェーンオイルまたはチェーングリスを塗布してください。

注意

- チェーンが上下に揺れるとき推奨範囲を超えると、スイングアーム保護ゴムを摩耗させます。速やかに15mmに調整してください。
- 調整後、左右のチェーンアジャスターのマークはスイングアーム上のマークに対して対称になるようにしてください。

10.12

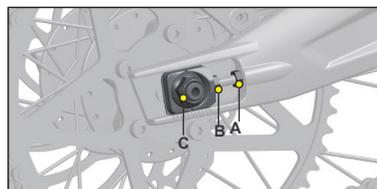


-FETCH LIGHT- 飛起乗-

メンテナンス

チェーン調整手順

1. キースイッチからキーを取り外し、メイン電源スイッチをオフにした後、リフトスタンドで車体を支え、後輪が浮いた状態にします。
2. 後輪車軸ナットCを緩めます。
3. 左右の調整ボルトBのロックナットAを緩めるボルトBのロックナットAを緩める。
4. チェーンが規定範囲内に調整されるまで、左右の調整ボルトBを均等に調整します。
5. リアアクスルナットCを締め付けます。
6. 左右のロックナットAを締め付けて固定する調整ボルトBの位置。
7. バイクの試乗を行ってください。
8. 試乗後、チェーンが正しく調整されているか再度確認し、必要に応じて再調整してください。



注意

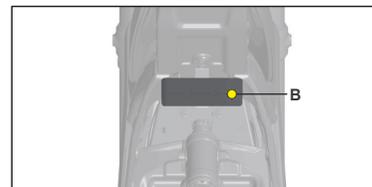
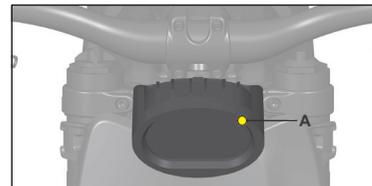
チェーンの張りを調整する際は、
両側の調整ボルトを均等に調整してください。

10.13

メンテナンス

ライトの交換

ヘッドライトA/テールライトBが破損した場合は、正規販売店に連絡し、完全な交換を行ってください。



オウゴンバイの清掃

1. スポンジまたは清潔な柔らかい布、中性洗剤と水を使用して、バイクを優しく洗浄してください。
2. ダッシュボードの清掃時は細心の注意を払ってください。他の部品より傷がつきやすくなっています。
3. 洗浄後、洗剤の残留物を完全に除去するため、水で十分にすすぎ洗いしてください。
4. 柔らかい乾いたタオルでバイクを拭き取ってください。
5. 洗浄後は、車面に異常がないか注意深く点検してください。

10.14

メンテナンス

10.15

注意

不適切な清掃はモーターサイクルを損傷する可能性があります。

ベアリング、シール、電気部品、プラグには高圧洗浄機を使用しないでください。ライトビー電動バイクの寿命を延ばすため、定期的な清掃とメンテナンスを行い、洗浄後は速やかに拭き取り乾燥させることを推奨します。

プラスチック部品には、刺激の強い化学製品を使用しないでください。強力な腐食性洗剤、溶剤、シンナー、燃料（ガソリン）、錆取り剤または錆防止剤、ブレーキフルード、不凍液、電解液に接触した布やスポンジの使用は避けてください。

注意

ライトビーの清掃には、バイク部品を損傷しないよう、高圧洗浄機を慎重にご使用いただくことをお勧めします。

警告

洗浄後、走行開始前にブレーキシステムが正常に作動することを必ず確認してください。

-FETCH LIGHT- 飛起来-

メンテナンス

10.16

ホイールとタイヤの洗浄

強力な酸性ホイールクリーナーの使用は避けてください。頑固な汚れを落とすためにこの種の製品を使用する場合は、短時間で洗浄し、すぐに乾燥させてください。

注意

タイヤは洗浄のみ必要です。タイヤのメンテナンスは一切不要です。

メンテナンス製品はタイヤと地面の摩擦を減らし、タイヤの早期劣化を招く可能性さえあります。

長期保管

長期間（30日以上）使用しないオートバイについては、バッテリーレベルを約40%から50%に維持し、ライトビーのメイン電源スイッチをオフにすることを推奨します。

バッテリーパックは保管中も徐々に放電します。少なくとも月に1回はバッテリーパックの残量を確認してください。バッテリー残量が20%を下回った場合は、40%から50%まで充電する必要があります。

ライトビーを再度ご使用になる際は、バッテリーパックを完全に充電し、最適な状態に回復させてください。パワーシステムの寿命を延ばすため、ライトビーは涼しく風通しの良い場所に保管してください。高温多湿の場所に保管すると、バッテリーパックと電気システムの寿命が短くなります。バッテリーおよび電気システムの詳細については、8.1ページを参照してください。

注意

ライトビーは、バッテリー残量が20%未満の状態では保管しないでください。バッテリーパックを20%未満で長期間放電すると、バッテリー寿命が短くなるか、バッテリーパックが損傷する可能性があります。過放電または長期にわたる極端な低バッテリーレベルによるバッテリーパックの損傷は、保証の対象外となります。

-FETCH LIGHT- 飛起来-

メンテナンス

警告

認定された専門技術者のみがバッテリーパックのメンテナンスサービスを提供できます。

バッテリーパック内部部品の無許可操作は非常に危険です。バッテリーパックを分解しないでください！

10.17

ライトビー純正部品

ライトビー電動バイクには、サーロン社が指定する部品およびアクセサリーの使用が必要です。ライトビー電動バイクのメンテナンス用純正スペアパーツは、販売店を通じて入手できます。

ヒューズ

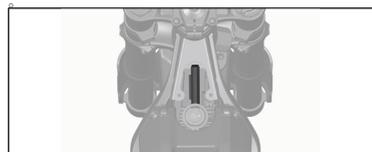
オートバイの電気系統には過電流保護装置が装備されています。ヒューズは使い捨ての保護装置であり、過負荷時には回路を保護するために溶断します。ヒューズを交換する際は、同じ仕様のモデルを使用してください。

注意

ヒューズが繰り返し切れる場合は、電気系統の点検のため販売店にご連絡ください。

ヒューズボックス

ヒューズボックスはUSBカバーの下にあります



-FETCH LIGHT- 飛起乗-

メンテナンス

ヒューズボックスには保護キャップが付いており、ヒューズにアクセスするにはまずこのキャップを開ける必要があります。キャップを開けるには、ラッチをしっかりと押し下げ、キャップを開けてください。ヒューズの交換方法:

1. ヒューズボックスのキャップをつまみ、ヒューズボックスの右側に開けます。
2. 故障したヒューズを、同じ仕様のモデルと交換する。

注意

ヒューズボックスには予備のヒューズが入っています。

10.18

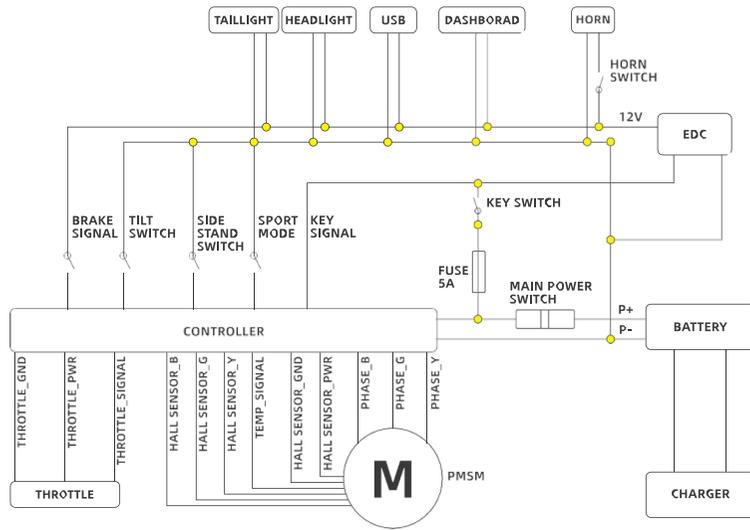
-FETCH LIGHT- 飛起乗-

メンテナンス

メンテナンス

ライトボルト電気回路図

10.19



-FETCH LIGHT-飞起来-

10.20



-FETCH LIGHT-飞起来-

トラブルシューティング

トラブルシューティング

すべてのライトビーは納品前に厳重に検査されていますが、まれに技術的な問題が発生する可能性があります。以下の情報は、問題の特定や基本的な修理・メンテナンスを行うためのガイドラインを提供します。ご自身で問題を解決できない場合は、お近くのSurrön正規販売店までお問い合わせください。お住まいの地域に販売店がない場合は、Surrönアフターサービスチームまでご連絡ください。

11.1

診断ケーブルの使用



診断ケーブルインジケータは2秒間隔で長時間点滅し、0.5秒間隔で短時間点滅します。長い点滅コードは10、短い点滅コードは1であり、累積合計が現在のエラーコードとなる。(例：長い点滅2回+短い点滅1回は10+10+1に相当し、エラーコードは10+10+1=21となる。)

1. リフトスタンドでオートバイの車体を支え、後輪が浮くようにする。
2. バッテリーコンパートメントカバーを開ける(6.2ページ参照)。
3. メイン電源スイッチ付近の対応するプラグを見つけ、診断ケーブルをプラグに接続します。
4. キーを挿入し、オートバイの電源を入れ、スロットルを回してください。
5. 診断ケーブルインジケータの点滅間隔と点滅回数を観察し記録する。11.7 ページ「エラーコードと故障リスト」を参照。

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

トラブルシューティング

温度に関する注意事項

低温時の注意事項

寒冷地環境は、ライトビーのバッテリー容量に恒久的な影響を与えません。ただし、低温はバッテリーパックが放出できる電力量に影響を与える可能性があるため、ライダーは走行距離や出力の低下を感じる場合があります。

したがって、25°Cの環境と比較して0°C (32°F) 以下の環境で使用する場合 (77°F)、ライトビーは一時的に航続距離が約30%減少する場合があります。極寒の天候下では、Light Beeは一時的に出力が低下し、最高速度に達しない場合があります。

気温が極端に低い状態での電動バイクの走行は推奨されません。その場合、バッテリーパックは充電時に0°C (32°F) 以上の周囲温度に置く必要があります。Light Bee電動バイクのバッテリー管理システム (BMS) は、バッテリーメーカーの厳格な制限により、バッテリーパックの放電温度が-20°C (-4°F) を下回ることを許可しません。

11.2

-FETCH LIGHT- 飛起乗-

注意
診断ケーブルが報告する故障は単一または複数の故障を示す場合があります、インジケータが点滅してそれらを示します。故障の表示期間は15秒を超えない。表示サイクル中は、複数の故障が表示されていないか注意すること。

トラブルシューティング

ライトビーは適切な温度環境で保管することを推奨します。

以下の条件で保管をしてください。

1. 推奨周囲温度：0°C以上

1. 保管前にバッテリーパックを40%~50%まで充電してください。少なくとも月に1回はバッテリー残量を確認してください。バッテリー残量が30%を下回った場合は、40%~50%まで再充電してください。

3. バッテリーパックは、周囲温度が0°C (32°F) 以上で充電する必要があります。バッテリー自身の保護機能により、内部温度が0°C (32°F) では充電できません。

保管温度が-20°C (-4°F) を下回ると、バッテリーパックの性能が永久的に低下する可能性があります。

温度を-20°C以上に保ってください。

(-4°F) 以下の環境下では、バッテリーパックが冬季保管中に永久的な損傷を受けないよう、長期保管のガイドライン (10.16ページの「長期保管」を参照) に従ってください。

11.3

高温環境

高温環境下では、バッテリーの性能変化は発生しません。ただし、バッテリーパックの温度が65°C (149°F) を超えると、モーターコントローラーが電力出力を制限します。温度がさらに上昇し続ける場合、バッテリー出力は停止されます。

(149°F) を超えると、モーターコントローラーが出力制限を行います。温度がさらに上昇し続ける場合、バッテリー出力は停止されます。

バッテリーの内部温度が60°C (140°F) を超えると、バッテリー管理システムは充電を許可しなくなります。

注意

バッテリーパック自身の保護機能により
バッテリーパックは0°C (32°F) 以下の温度では充電できません。同様に、冬季にバッテリーパックの温度が-20°C (-4°F) 以上であれば、バッテリー残量が30%以上を維持することでバッテリーパックの損傷を回避できます。

-FETCH LIGHT-飛起来-

トラブルシューティング

ライトビーの使用中の注意

ライトビーには高電圧部品が搭載されています。ご使用の際は適切な予防措置を講じてください。高電圧部品は危険であり、感電、火傷、さらには重篤な人身事故を引き起こす可能性があります。

安全のため、常にオートバイ部品に貼付されているラベルの指示に従い、高電圧部品、ケーブル (オレンジ色の外管でマークされている)、またはコネクタに触れたり、取り外しや交換を試みたりしないでください。事故が発生した場合、ケーブルに接続されている高電圧端子や部品には絶対に触れないでください。電動バイクで火災が発生した場合は、まず自身の安全を確保し、その後クラスD消火器を使用して消火してください。炎が消えた後は、大量の水または水系消火器で冷却してください。

11.4

注意

ライトビーおよびバッテリーパックを、40°C (104°F) を超える環境や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。これによりバッテリー性能の劣化が加速する可能性があります。

安全

バッテリーパックがライトビー電動バイクに接続された際、バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、バッテリーパックの損傷を防ぐため、以下の2つの対策のうち1つまたは両方が実施されます：

1. 乗車禁止。バッテリー残量が0の場合、またはバッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまでモーターサイクルの使用は禁止されます。

2. 充電禁止。バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまで充電を禁止します。

-FETCH LIGHT-飛起来-

トラブルシューティング

警告

ライトビーは60V高電圧システムを採用しています。
使用後、電源システムは高温になり触れない場合があります。高電圧と高温に注意し、電動バイクの安全規則と規制をすべて遵守してください。



11.5

重大な警告

ライトビーの高電圧回路システムは、ユーザーによるメンテナンスを許可していません。高電圧部品、ケーブル、またはコネクタの取り外しや交換は、深刻な感電、火傷、さらには生命に関わる重傷を引き起こす可能性があります。

-FETCH LIGHT- 飞起来-

トラブルシューティング

11.6

-FETCH LIGHT- 飞起来-

トラブルシューティング

エラーコードと障害リスト

| エラーコード | エラーの説明 | トラブルシューティング |
|--------|-----------------------|--|
| 1 | 正常に動作中 | / |
| 2 | コントローラMOS故障 | 製造元または正規販売店に連絡 |
| 3 | コントローラハードウェア過電流 | 車両の電力制限使用 |
| 4 | コントローラファームウェア過電流 | キースイッチをOFFしてから再びONに戻す |
| 5 | モーターの相欠け、動作が詰まる | モーターの相線ケーブル接続が緩んでいないか確認する |
| 6 | モーター位置センサー（ホールセンサー）故障 | メーカーまたは正規販売店に連絡 |
| 7 | ロックドローター保護 | モーターがブロックされていないか確認してください |
| 8 | コントローラ過熱、電力制限 | 車両パワーレベル1制限使用 |
| 9 | コントローラレベル2過熱 | 走行を停止し、温度が下がるまで待機 |
| 10 | モーター過熱、出力制限 | 車両出力レベル1制限使用 |
| 11 | モーターレベル2過熱 | 走行を止めて温度が下がるのを待つ |
| 12 | メインケーブルレベル2過電圧 | 回生ブレーキOFF |
| 13 | メインケーブルレベル2 電圧不足 | バッテリーパックを充電してください |
| 14 | スロットル開放保護 | スロットルがアイドル位置に戻らないか、スロットルケーブルが短絡していないかを確認する |
| 15 | スロットル故障/スロットル信号エラー | スロットルケーブルの短絡または断線を確認する |
| 16 | ブレーキ信号作動 | ブレーキスイッチの短絡を確認 |
| 17 | モーター温度センサーの故障 | メーカーまたは正規販売店に連絡してください |

-FETCH LIGHT-飛起乗-

トラブルシューティング

| エラーコード | エラー内容 | トラブルシューティング |
|--------|------------------------|---------------------------------|
| 18 | MOS放電不良 | 製造元または正規販売店に連絡 |
| 19 | バッテリー温度センサーの故障 | 製造元または正規販売店に連絡してください |
| 20 | バッテリー放電レベル2 過熱 | 走行を止めて温度が下がるのを待ちなさい |
| 21 | コントローラのサンプリングエラー | 製造元または正規販売店に連絡してください |
| 22 | サイドスタンドスイッチ作動 | サイドスタンドが下がっていないか確認 |
| 23 | ティルトスイッチ作動 | キースイッチをOFFしてから再度ONにする/傾斜スイッチを確認 |
| 24 | キースイッチ電源喪失保護 | キースイッチとコントローラの接続を確認 |
| 25 | バッテリーレベル1 低電圧、電力制限 | バッテリーパックを充電してください |
| 26 | 充電MOSレベル2 過熱 | 充電を停止し、製造元または認定販売店に連絡してください |
| 27 | バッテリー通信障害 | 車両通信回路を確認 |
| 28 | バッテリーレベル2 電圧不足 | バッテリーパックを充電してください |
| 29 | バッテリーレベル2 低温 | バッテリー温度が上昇するまでお待ちください |
| 30 | バッテリーレベル1 過熱、出力制限 | 走行を中止し、温度が下がるまで待機してください |
| 31&32 | コントローラとバッテリーの通信障害 | 車両通信回路を確認してください |
| 33 | バッテリー残量が少なすぎます | バッテリーパックを充電してください |
| 34 | バッテリーセルレベル2の充電温度が低すぎます | バッテリー温度が上昇するまで充電を停止してください |
| 35 | バッテリーレベル3 過電流 | 電源システムが遮断/損傷していないか確認 |

-FETCH LIGHT-飛起乗-

11.7

11.8

トラブルシューティング

一般的なトラブルシューティング

11.9

| 障害の説明 | 考えられる原因 | トラブルシューティングの解決策 |
|----------------------|--------------------------|---|
| 車両の電源が入らない | バッテリープラグが正しく接続されていない | バッテリープラグを確認 |
| | バッテリーレベルが低すぎる | バッテリーパックを充電する |
| | バッテリーが温度保護状態になりました | 温度が正常に戻るまでお待ちください 動作状態に戻るまで |
| | メインケーブルのヒューズが切れています | すべてのケーブルを確認し、ヒューズを交換してください |
| | キースイッチが正しく動作していない | キースイッチケーブルの接続を確認 または新しいキースイッチと交換してください |
| | DCコンバータの故障 | DCコンバータを交換してください |
| | バッテリーの故障 | バッテリーを修理または交換してください サーロンアフターサービス拠点にて |
| 車両の電源が入っている が動かない | サイドスタンドスイッチ保護 | サイドスタンドを収納する |
| | ブレーキオーバーライドスイッチ保護 | ブレーキ信号スイッチを確認 |
| | チルトスイッチが作動しリセットされていない | キースイッチをオフにして再度オンにする その後、バイクを持ち上げる |
| | スロットルがアイドル位置にない 電源投入時 | スロットルストロークを確認し調整する |
| | バッテリー低レベル保護 | バッテリーパックを充電してください |
| | モーター温度が高すぎます | 走行を中止し、 温度が下がるまで待機 |
| | コントローラー温度過昇 | |
| | サイドスタンドスイッチの故障 | サイドスタンドスイッチを外すか交換してください |
| チルトスイッチの故障 | チルトスイッチを外すか交換する | |

トラブルシューティング

11.10

| 故障内容 | 考えられる原因 | トラブルシューティングの解決策 |
|---------------------------|--------------------------|---|
| 車両の電源が入っているが 動かない | スロットル接点の不良または損傷 | スロットルを交換する |
| | コントローラープラグの接触不良 | コントローラーのプラグを再挿入する |
| | モーターエンコーダーの接触不良 | モーターエンコーダーの接続を確認 |
| 車両の電源が入っているが バッテリー表示なし | コントローラーまたはモーターエンコーダーの故障 | コントローラーまたはモーターの修理/交換は サーロンアフターサービス拠点にて |
| | バッテリーインジケーターが正しく接続されていない | バッテリーを修理または交換してください。 Surrionアフターサービス拠点にて |
| 充電器が動作しない | バッテリーインジケーターが破損している | バッテリーを修理または交換してください Surrionアフターサービス拠点にて |
| | バッテリーが温度保護状態に入る | 温度を正常な動作状態に戻す 動作状態に戻るまで |
| | 充電器プラグの接触不良 | 充電プラグを再挿入してください |
| | 充電器の故障 | 充電器を交換してください |
| 無効な走行モード モード/出力制限 | バッテリーの故障 | バッテリーを修理または交換してください サーロンアフターサービス拠点にて |
| | バッテリー残量が不足しています | バッテリーパックを充電してください |
| | バッテリー温度保護 | 温度が動作状態に戻るまで お待ちください |
| | モーターまたはコントローラーの温度が高すぎます | |
| 走行モードスイッチの故障 | 走行モードスイッチを交換してください | |
| USBポートに電力供給なし | USBプラグの接触不良 | USBプラグの接続を確認 |
| | USBコンバータの故障 | USBコンバータを交換する |

トラブルシューティング

注記

上記の内容は随時更新・補足される可能性があります

内容を更新・補足する場合がございます。最新バージョンは販売店または公式ウェブサイトでご確認ください。

11.11

-FETCH LIGHT-飞起来-

トラブルシューティング

11.12

-FETCH LIGHT-飞起来-

保証約款

保証の発効

Surron の車両保証は、株式会社コハウジヤパン(以下当社)と車両売買契約並びにアフター・サービスを締結した販売店(以下「Surron 取扱店」)が Surron 納車品質確認兼保証書へ必要事項を入力、送信後、有効となる。

有効な保証条件

株式会社コハウジヤパンは以下の声明を行います。
本保証条件に記載された期間内において、当社が提供する修理用材料および主要部品は、本保証条件に基づき保証されます。
保証期間中に発生した製造上の欠陥については、本保証条件に基づき、該当車両の修理または交換を行います。本保証は、当社が正規に販売した車両であり、正規販売店により正しく設置・点検・引き渡しが行われ、かつ本説明書および付属する関連文書に従い正しく使用・保守された場合にのみ適用されます。
原則として、車両購入後1週間以内に、車両情報登録／引き渡し点検書を完全に記入し、当社の車両登録プラットフォームへ提出していない場合、本保証は無効となります。

12.1

保証期間

Surron の車両は顧客が製品を購入、保証手續完了後(車両登録後)下記の期間または走行距離を超過した場合のいずれか早い方を適用。また、通常の取扱い及び定期点検の受検車両を対象に、生産上の欠陥、材質に起因する不具合において、規定に従って修理または交換の実施を保証する。

Light Bee X: 6ヶ月、競技会走行に使用した場合は30日
※競技会とは、主催者が存在し順位・計測を伴う走行を指す。

注意

Surronが製造した車両を商業用途(レンタル等)で使用した場合、または商業用途に準ずる使用と認定された場合、保証期間は購入日から30日間となります。
保証期間は車両購入日より開始し、所定の条件を満たした場合にのみ有効です。

保証の継承について

本保証は譲渡不可であり、初回所有者のみに適用されます。

-FETCH LIGHT-飛起乗-

保証約款

保証修理の適用

保証修理のための移動、運搬は購入者の責任において、Surron 取扱店へ持ち込む必要がある。その際、登録書類、保証書、点検実施の確認のできる書類を持参する必要がある。
保証修理は Surron 取扱店の認められている作業場でのみ行うことができ、不具合の確認後直ちに行う必要がある。

保証修理の対応期間および部品供給について

保証修理に要する期間は、不具合内容の確認、原因調査、部品手配および修理作業等を含め、合理的な期間を要するものとする。
修理に必要な部品が国内に在庫されていない場合、海外からの取り寄せとなることがあり、その際は輸送状況、通関手続きその他の事情により、修理完了までに相応の期間を要する場合があります。
保証修理の実施にあたり、当社またはSurron取扱店は、修理完了時期について目安を案内することはありますが、特定の完了日を保証するものではありません。
また、保証修理期間中における代替車両の貸与は原則として行いません。

12.2

保証対象部品

当社は、Surronの工場で製造された車両において、製造材料および製造工程上の欠陥があった場合、本保証条件に基づき、保証期間内に発生した部品(ゴム類や油脂類等の消耗部品を除く)の不具合について、無償で修理または交換を行います。

保証適用外

車両部品に欠陥があり、かつ人為的な交換が必要な場合、工賃および材料費は車両所有者の負担となります。
修理作業は必ずSurron取扱店で行う必要があります。
事前に当社または取扱店へ連絡した場合を除き、Surron取扱店以外、または《軽量電動バイク取扱説明書》に反する自己交換・改造によって生じた不具合は、保証対象外となります。
また、非純正部品の装着、車両制御・電装系・ソフトウェア設定の変更、ならびに当社が許可していない改造・調整・使用状況が確認された場合、その内容がSNS、動画投稿サイト、其他媒体への公開・非公開を問わず、当該改造・使用に起因すると判断される不具合については保証対象外となります。

-FETCH LIGHT-飛起乗-

保証約款

保証の可否

保証修理適用の可否については、Surrön取扱店において、当社が定める保証基準および技術判断に基づき、購入車両と不具合の状況を確認の上で判断します。

使用者の遵守事項

道路運送車両法では日常点検と定期点検の実施が義務付けられている。

定期交換部品、油脂類の交換は指定された頻度で行うこと。
ユーザーマニュアル記載の取扱い方法にしたがって適切に使用すること。

バッテリーの劣化防止のため、使用していない場合でも3ヶ月に1回以上の充電すること。長期保管の場合、過放電防止のため50%程度の容量で保管をすること。

保証適用外の事項(以下の原因による故障または不具合は保証対象外)

通常の使用による摩耗、傷、自然劣化、自然退色
購入した製品を、取り扱いに関する指示書(ユーザーマニュアル、メンテナンススケジュールなど)に従わなかった場合
購入した製品がサービスの提供を認可されていない作業場により整備された場合

Surrön から使用が許可されていない部品が装備された場合
購入した製品を Surrön が許可しない方法で改造した場合

不注意または不適切な取扱いや誤用(競技等の目的で使用、上記の期間を除く)

不適切な保管に起因した問題
機能や性能に影響のない感覚的な事象(音、振動、液体の滲みなど)

転倒、追突、衝突などの事故に起因する不具合

天災および火災に起因する不具合

爆煙、降灰、酸性雨、オイル、薬品、鳥糞、塩害、飛石に起因する不具合

結露など、自然現象や環境条件に起因する不具合

経年変化による劣化とみなされる症状

車両が盗難・放火・悪戯等により被った損害

Surrön が指定した規格以外の油脂を使用したことに起因する不具合

異常を発見していたのにも関わらず放置、継続使用したことにより起因、拡大した不具合 消耗部品及び油脂類等(タイヤ・ブレーキパッド等を含む、バッテリーは別途)

法令及び Surrön が指定する点検整備、その他の点検、調整、清掃ならびに定期交換部品 車両を使用できなかったことによる損失(通信費、引き取り納車費用、交通費、宿泊費、休業補償、商業損失)

Surrön 純正品以外の部品

アクセサリやコンポーネントを車両に取り付け、接続したことによる動作の変化、純正部品の損傷、電気系の不具合、データ損失

保証期間内に確認された不具合にもかかわらず、保証期間終了後に報告した場合の修理費

また、本保証は以下の損失には適用されません:

使用不能による損失

車両価値の低下

利益損失

人的・物的損害

間接的・付随的・特別損害

営業損失

レンタル不能

イベント参加不可

その他

ただし、当社の故意または重過失、ならびに製造物責任法に基づく責任については、この限りではありません。

保証規定により取り外された部品は株式会社コハクジャパンの所有物となる。

保証約款

12.4

株式会社コハクジャパン

12.3

ライトビーの点検・整備後、適切な整備記録が記入されていることを必ずご確認ください。「備考」欄に、次回点検時に確認したい事項やご自身で覚えておきたい内容を記録してください。

100KM

| 走行距離計の読み取り値 | | 実施者 | | 日付 | |
|-------------|--|-----|--|----|--|
| 保守記録 | | | | | |
| 備考 | | | | | |

13.1

500km

| 走行距離 | | 実施者 | | 日付 | |
|------|--|-----|--|----|--|
| 整備記録 | | | | | |
| 備考 | | | | | |

13.2

1000KM

| 走行距離計の読み取り値 | | 実施者 | | 日付 | |
|-------------|--|-----|--|----|--|
| 整備記録 | | | | | |
| 備考 | | | | | |

13.3

2000km

| 走行距離計の読み取り値 | | 実施者 | | 日付 | |
|-------------|--|-----|--|----|--|
| 整備記録 | | | | | |
| 備考 | | | | | |

13.4

5000KM

| 走行距離計の読み取り値 | | 実施者 | | 日付 | |
|-------------|--|-----|--|----|--|
| 整備記録 | | | | | |
| 備考 | | | | | |

13.5

10000km | 12ヶ月

| 走行距離 | | 実施者 | | 日付 | |
|------|--|-----|--|----|--|
| 整備記録 | | | | | |
| 備考 | | | | | |

13.6

別紙

別添

13.7

| ライトビー電動バイク アフターサービス記録シート | | | | | |
|--------------------------|-------------|------|-----|----|----|
| | 走行距離計の読み取り値 | 保証項目 | 実施者 | 日付 | 備考 |
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

-FETCH LIGHT-飞起来-

13.8

| ライトビー電動バイク アフターサービス記録シート | | | | | |
|--------------------------|-------------|------|-----|----|----|
| | 走行距離計の読み取り値 | 保証項目 | 実施者 | 日付 | 備考 |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

-FETCH LIGHT-飞起来-

13.9

13.10

| パラメータリスト | |
|------------------|---------------------------------------|
| 車両モデル | QL4000DY-A |
| 寸法 | 1850x780x1080mm |
| 最低地上高 | 270mm |
| シート高 | 830mm |
| 乾燥重量/車両重量 | 57kg |
| 積載量 | 100kg |
| タイヤ | フロント オフロード-70/100-19 リア オフロード-3.00-18 |
| アシスト機能 | 回生ブレーキ (SPORTモード時) |
| ホイールベース | 1255mm |
| フロントフォークストローク | 200mm |
| リアショック/ホイールストローク | 85/210mm |
| 電力システム | PMSM+FOC正弦波コントローラ |
| 定格出力 | 1000W |
| 最大出力 | 8000W |
| 最大トルク | 266N・m |
| 最高速度 | 75km/h |
| 航続距離 | 75km (@40km/h) |
| バッテリータイプ | リチウムイオン電池 60V/40Ah |
| 走行モード | Sports+Ecoモード |
| 充電時間 (20-80%) | 2時間 |
| フレーム設計 | アルミ鍛造フレーム |